

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

防波堤や防波護岸等の整備により、越波を軽減し漁船被害を回避する (宮崎県児湯郡川南町)

事業者：宮崎県

対策前



港内へ高波の進入



越波による浸水（平成23年台風12号）

対策後



北防波護岸（改良、かさ上げ）



防波堤（新設、粘り強い化）

対策名：7 漁港施設の耐震・耐津波・耐波浪化等の対策



主たる施策グループ：4-5) 食料等の安定供給の停滞に伴う、国民生活・社会経済活動への甚大な影響

事業名：水産生産基盤整備事業

- ポイント**
- 過去に越波・高波による漁船被害を受けた漁港において、防波堤の新設や防波護岸の嵩上げ等の改良を実施
 - 漁港内及び漁港背後地の被害軽減に寄与

地域の概要・課題

川南漁港は、宮崎県の中央部に位置する日向灘に面した地域の拠点漁港であり、近年はまぐろ延縄漁業への転業が進み、漁船の大型化が進んでいる地域です。

当該漁港は、平成30年の台風24号の際に越波により多くの漁船が被害を受けました。また、南海トラフ地震の際には津波による被害を受けることが予測される地域であり、これら災害リスクへの対応力の強化が課題となりました。

事業の概要

激甚化する台風・低気圧等による越波・高波から漁港内及び漁港背後地の被害を軽減するため、防波堤や防波護岸の天端高を5.5mから7.0mまで嵩上げする整備を実施しました。



嵩上げ高さ

効果

防波堤や防波護岸の整備により、台風時の越波が軽減でき、港内への波浪進入が抑えられます。

令和4年台風14号では、平成30年台風24号と比較し、漁船避難係留時の港内の静穏性が向上し、漁船被害が大幅に軽減しました。

平成30年台風24号（最大瞬間風速**37.9m/s**）
漁船被害11隻（うち小型船8隻、中型船3隻）



令和4年台風14号（最大瞬間風速**36.8m/s**）
漁船被害2隻（小型船）

2 への転換に向けた老朽化対策

予防保全型インフラメンテナンス

3 (1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化

国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 伝達高度化

災害関連情報の予測、収集・集積